

10-4		主題	京畿道老人自殺予防事業の推進方案	
老人自殺		副題	共感と支持技法による相談が老人自殺低下へおよび影響	
共感と支持技法				
研究期間	8ヶ月	事業所	京畿道老人福祉施設連合会	
発表者： キム ウン ジュ			アドバイザー： ユク ソン ピル	
共同研究者：京畿道老人自殺予防センター、京畿道老人総合相談センターの老人相談専門家				
電話	+82-31-222-6097	メール	coffee337@hanmail.net	
FAX	+82-31-222-6015	URL		

今回発表の事業所やサービスの紹介	急速に増加している高齢者のニーズを充足させるために京畿道内の老人住居福祉施設、老人医療福祉施設、老人余暇福祉施設、老人在宅福祉施設などの合理的な運営と効率的な官営を支援し、老人福祉政策の研究及び開発しながら会員の相互間の協議・調整を行い老人福祉に対する道民の理解と参与を図って京畿道の老人福祉の増進させるのをその目的としています。
------------------	---

2007年の調査によると韓国は自殺者が1997年6,068名から2007年12,174名に2倍増加しており、OECD国家中最高水準である。

京畿道の場合2009年の調査では3,286名の自殺者の中、60歳以上の老人が997名で30.3%を占めている状況である。

その要因とされるのが老いに伴う身体的、精神的な障害と経済力の喪失、配偶者の死、社会的なコミュニケーションの断切などがとりあげるがもっと問題とされるのが老人の場合、自殺前に助けを求めることがなく、孤立され早期に発見するのが難しいことと、自殺準備期間が長く、致命的な自殺方法の選択と成功率である。

それを防ぐために京畿道は2009年度から老人自殺予防センター、専門相談員の配置、老人の仕事場作り、自殺予防教育などの老人自殺予防事業を積極的に推進している。

今回の研究は京畿道老人福祉施設連合会が主催になって行っている京畿道老人自殺予防事業の中に相談の効果性について検証するために行った。

老人の主な自殺要因とされているうつ病と自殺考えが高い対象に相談技術の一つである共感—支持の技法を使って個人相談行った時、自殺率を減少させるかについて調査をした。

研究の方法は31ヶ所の京畿道に派遣されている老人相談専門家及び老人生命ドルボミ(面倒を見る人で gatekeeper を意味する)が2009年4月から12月まで進化した自殺危機相談(うつ病点数及び自殺事故点数で判断した高危険群)中4回以上進行された81事例について分析を行った。

現在京畿道は市郡43ヶ所の老人自殺予防センターが指定されており、老人福祉館を優先して指定し、老人福祉館がない市郡にたいしては老人仕事場作り遂行機関、官公署などを老人自殺予防事業の総括機関として指定して自殺専門相談士、自殺予防教育などを実施している。

そして京畿道老人総合相談センターで育成された老人自殺専門相談士を活用している。

老人自殺専門相談士は自殺専門相談教育(QPR)履修者、老人相談専門家、相談心理修士以上、相談心理士2級以上で構成されている。

実績は2010年12月現在2,673名6,447件である。その中自殺道具の準備や具体的計画まで準備した人は204名である。

老人自殺予防教育の場合は教育用DVDを制作及び配分し、61回に当たり3960名に実施した。

2009年9月からは自殺危機老人のうつ病の治療費も支援している。

京畿道老人福祉施設連合会の努力は2008年と比べ8.8%の減少率を見せている。その中に5ヶ所の市・郡では41.6% - 76.6%の減少率を示したところもある。

このような結果に対する検証として行った今回の調査でも似ている結果であった。

Jerome A Yesavageなどが開発した老人うつ病尺度を韓国の事情に合わせたGDS-K-RとBeckなどが開発した自殺思考尺度を韓国に合わせたSSIを使用した。

分析にあてはうつ病点数前後と自殺思考点数の前後に正規性が充足できるかどうかを検証した結果(p < .05)、充足させなかったためWilcoxon Testを使用した。

その結果、事前うつ病点数の平均が22.53から事後17.17に減少し、事前自殺思考も14.06から事後8.77に減少した。

この結果は京畿道老人福祉施設連合会が主体になって行っている自殺予防事業は効果があるとも言えるだろう。

《提案と発信》

今回の調査を通じて個別相談は青少年だけではなく老人にもうつ病や自殺思考の緩和に影響を与えているのがわかった。しかし、老人自殺予防事業は相談の専門性以外にも地域社会及び自治体の積極的な支援と関心が老人の自殺率低下に重要な役割を担っているのを考えた時に持続的な報告と定期的な自殺予防教育が義務化される必要があるだろう。

【メモ欄】